

成果の説明書

(氏名) 若林 隆久	(学部) 地域政策学部
------------	-------------

1 重要事項

(1)

① 研究成果

【論文など】

1. 若林隆久 (2019)「人が集まる場所としての空き家の利活用：担い手のモチベーションと地域間の人材をめぐる競争」高崎経済大学地域科学研究所 編『空き家問題の背景と対策：未利用不動産の有効活用』, 第9章.
2. 若林隆久 (2019)「群馬県における空き家の利活用事例と担い手のモチベーション」高崎経済大学地域科学研究所 編『空き家問題の背景と対策：未利用不動産の有効活用』(高崎経済大学ブックレット②), 第7章.

【口頭発表・講演など】

3. 若林隆久 (2018)「地域で人が集まる場所における空き家活用事例とその担い手」平成30年度建設・住宅主務課長会議, 前橋：前橋問屋町センター. (2018年11月22日)
4. 金沢慎太郎・若林隆久 (2018)「“つながり”の経営学」東大アウトリーチ企画 MERC 丸の内院生ラウンジ 経営学サロン, 東京：三菱ビル 10階コンファレンススクエア エムプラス. (2018年11月22日)

② 研究費

(A) 三井デザインテック株式会社との共同研究「オフィスにおけるコミュニケーションについて」(2018年5月～2019年3月)を行った。

(B) 平成30年度高崎経済大学競争的研究費・特別研究助成金(個人)に「ダイバーシティ・マネジメントに向けた個人と組織の関係性：i-deals という概念を通して」が採択された。

(C) 平成28年度地域科学研究所研究プロジェクト「空家特別措置法施行後の空き家対策に関する総合的研究」が継続された(研究分担者、研究代表者：岩崎忠)。

(D) 平成30年度地域科学研究所研究プロジェクト「地方都市における中小製造業の存立基盤に関する研究」が採択された(研究分担者、研究代表者：永田瞬)。

(E) 平成30年度高崎経済大学研究奨励費・特別研究助成金「地方都市における中小製造業の海外進出に関する研究：中国を事例として」が採択された(研究分担者、研究代表者：佐藤英人)。

③ 「組織におけるキャリアとワークスタイル」研究会開催

高崎経済大学地域政策学会「学生向け学習・研究支援プログラム助成」の助成も受け、高崎経済大学地域政策学会の助成も受け、研究教育活動の一環として「組織におけるキャリアとワークスタイル」研究会を5回とワークショップ1回を開催した。

(2) 教育

① 講義

前期には「初年次ゼミ」と「経営学」、後期には「経営分析／財務諸表分析」と「産業立地論」の講義を担当した。また、講義のゲストスピーカーとして、「アーツマネジメント論」において「アートとは何か」と「なぜアートなのか」といった講義を行った。さらに、「地域政策を考える」の担当回で講義を行った。

② 演習

演習Ⅰ・Ⅱでは、通常の演習の時間（含、佐藤公俊ゼミとの合同オープンゼミ）に加えて課外活動として、オープンキャンパスにおけるゼミ展示、三扇祭への模擬店の出店、第7回地域政策学部プレゼンテーション大会、1泊2日の合宿（含、新日鐵住金鹿島製鉄所見学）、川場村道の駅視察、を行った。また、来年度の演習Ⅰ生を対象として後期に15回のプレゼミを実施した。さらに、2月28日～3月4日にかけて中国・上海において海外研修を行った。

（３）社会における活動

① 一般社団法人経営研究所「人材開発と組織」研究会 コーディネータ

経営研究所の「人材開発と組織」研究会において、コーディネータを務めた。

② 日本生産性本部・経営アカデミー「組織変革とリーダーシップコース」講師

日本生産性本部・経営アカデミーの「組織変革とリーダーシップコース」において、「調査・研究・論文作成の考え方」及び「リーダーシップ開発」の講義を行った。また、グループ指導講師を務め、『『さらけ出し』と『ほめる』：チームパフォーマンス向上のための実践的アプローチ』という論文作成の指導を行った。

③ 岡田商事社内大学講師

2018年度岡田商事社内大学において、10月12日・11月2日に「営業のマネジメント」の講義およびケース補助を担当した。

④ 株式会社ゲノムクリニック倫理審査委員会・委員長

株式会社ゲノムクリニック (<https://www.genome-clinic.co.jp/>) の倫理審査委員会において委員長を務めた。

⑤ 学内での講演会などの開催

講師を招聘し、地域科学研究所第1回講演会（6月18日）『『食品ロス』対策の現状：身近な事例から世界の事例まで』（講師：村田香織氏）、創業者創出ミーティング（10月29日）「21世紀を生きるための新しい学びと働くの関係」（講師：信岡良亮氏）、地域政策学会第3回学術文化講演会（12月3日）「地域で人が集まる場所の創り方」（講師：本田美咲氏、秋山恵璃氏、三橋純香氏）の開催に携わった。

2 その他の事項

- 教務委員、キャリア支援センター運営委員、地域科学研究所・総務企画委員などの学内業務を行った。
- 文部科学省「留学生就職促進プログラム」グローバル・ハタラクラスぐんまのキャリアラム委員会の委員、および、群馬県創業支援連携会議の委員として、関連する会議などに出席した。

3 次年度以降の計画・抱負

研究面では、2019年度採択予定である科学研究費補助金・若手研究「個人間ネットワークがもたらす組織活性化の定量的・定性的研究」や来期も継続予定の三井デザインテック株式会社との共同研究を中心に研究活動およびアウトリーチ活動を行い、積極的に研究成果を発信していくことを目指す。

教育面では、2019年度より担当することになるキャリアデザイン論の講義を立ち上げつつ、ICTやウェブも活用しながら双方向性があり学びやすく魅力のある講義の確立に取り組む。ゼミにおいては、内部での活動を充実させ質を高めるとともに、他ゼミとの交流や国内外のフィールドワークといった外部での活動を増やす。教育活動についても、研究活動と同様に積極的に教育内容や成果を発信していくことを目指す。